



埼玉学習センターだより

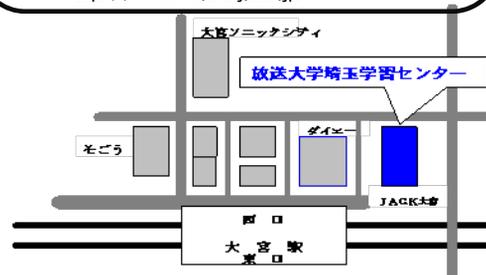
さきたま



放送大学埼玉学習センター

〒330-0853
さいたま市大宮区錦町682-2
大宮情報文化センター内(受付:10階)

TEL 048-650-2611
FAX 048-650-2615
<http://www.ouj.ac.jp>



〈 主な内容 〉

- P 1. 平成22年度第1学期入学者の集い
- P 2. 埼玉学習センター客員教授(安達 忠夫先生)から
- P 2. 生涯学習奨励賞授賞式
- P 3. 卒業生のコメント(萩原さん、古屋さん)
- P 4. 退任挨拶(吉森先生)
- P 5. 21年度に開催された公開講演会実施概要
- P 6. サークル紹介
- P 7. 教務からのお知らせ、図書室・視聴学習室からのお知らせ
職員紹介
- P 8. 各種お知らせ



埼玉学習センター外観

入学おめでとうございます。

平成22年度第1学期入学者の集い

平成22年度第1学期入学者の集いが、4月4日(日)に埼玉学習センターの第1講義室において実施されました。埼玉学習センター所属の入学者1318名のうち200名が出席し、溢れんばかりの熱気のなか、履修方法、学習センターの概要説明などに熱心に耳を傾けていました。

引き続き、施設見学の後、8階講堂ではサークル紹介・履修相談会があり、それぞれのサークルが工夫を凝らして展示した会場では、ユーモアと情熱溢れる勧誘合戦が展開されていました!

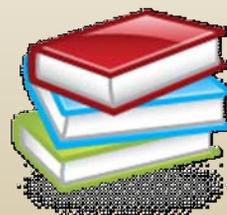
また、履修相談会では、生涯学習奨励賞受賞者に協力を依頼し、センター教職員と共に相談に対応しました。

今回は、開催案内のDMが功を奏し、他の学習センターでも予想以上の参加者があったとの報告がありました。

今後、受付方法の工夫をして、スムーズな進行をしたいと考えています。



入学者の集い—毛利所長祝辞



** 飲 水 思 源 **

安達 忠夫（ドイツ・北欧文学、児童文学）

「学芸は長く、人生は短かし」ars longa, vita brevis—知識や情報量は無限ですが、人生は限られており、龐大な知識をわずかな授業時間で習得することなど不可能です。

幸か不幸か、大学紛争の真っ只中に育ったわたし（たち）の世代は、いろいろ回り道し、大学の授業もまともに受けられないまま、人一倍時間をかけて卒業しました。教官として定年退職を迎えた今になっても、教育の方法すら身につけておりません。そのつど自分なりに工夫を重ね、模索してきたとはいえ、日暮れて道遠しの感があります。

大学の授業がない代わりに、その頃の仲間たちは少人数で下宿や喫茶店に集まり、輪読会などをしていました。牧者のいない家畜の群れ同然ですから、互いに未熟な、支離滅裂な意見をぶつけ合い、めいめい勝手に草を食んで自己満足していただいだけかもしれません。でも一人一人真剣そのもので、いつも名状しがたい飢えと渴きが胸元を突き上げていました。

今は紛争も鳴りをひそめましたが、こんなに恵まれた時代だからこそ、「授業」ということばに甘えてばかりはいられません。水を飲みたい人たちにヤカンの水をふるまい、各人それを押しいただいて飲むだけなら事は簡単です。でも知の伝達とは、こうした授受〔傍点〕の上下関係とは根本的にちがいます。飲みたい水を自らの力で探し求める方法を、互いに切磋琢磨、身につけ合うことが肝腎ではないでしょうか。

喉が渴いていない馬を水際までみちびいても、水を飲ませることはできないと言います。

渴きさえあれば、自ずと足が水際に向かうはず。自分で見つけた水の味わいは格別で、五臓六腑にしみわたることでしょう。

「飲水思源」（＝水を飲んで源を思う）ということばが、学問という営みのすべてを語っています。



生涯学習奨励賞授賞式

埼玉学習センターでは、センターにおいて定めた複数の専攻数を卒業・修了された方に対し表彰する制度（生涯学習奨励賞）を設けております。

平成21年度第2学期卒業・修了生からは以下のたくさんの方々が表彰されました。今回は、本制度を開始してから初めて、全専攻制覇された方が2名おりました。

皆様、誠にありがとうございます。

6 専攻卒業者（金剛賞）	2 名	萩原 幸子 様	染谷 福一 様
5 専攻卒業者（金賞）	1 名	古屋 秋雄 様	
4 専攻卒業者（銀賞）	2 名	川口 英昭 様	田口 和美 様
3 専攻卒業者（銅賞）	4 名	田中 修 様	滝沢 千太郎 様
		会田 久美子様	山田 孝雄 様





放送大学を卒業して

萩原 幸子

私が放送大学に入ったきっかけは、今から40年前の高校生の時に始めた速記の通信教育のデモテープの中に放送大学の話が入っていてこれから夢のような大学が出来ることを知ったことでした。それから20年後、次女が小学校に入り保育園の送り迎えから解放されて時間に余裕ができるようになりました。そこで放送大学に入りたいと夫に相談したところ快諾してくれたので入学を決意しました。

放送大学で学んだことは、面接授業で「天皇機関説」を学びました。ことばでは知っていてもどういふことなのか理解していなかったことがわかりました。大学に入ると色々なことがわかっていいなあとその時に思いました。

また、私たちのために一生懸命に講義をしてくれる教授に感激もしました。また、面接授業では、身体に障害のある方が付添いの人と一緒に来て授業を受けている姿を見て感動をしました。本当に開かれた大学なのだと思いました。

そのほかに学んだことは、「光合成はピコ秒で」「ミトコンドリアイブ」「3億年後の地球の1日は24時間より長い」「報道されていることは一部分だけにしかすぎない」また、第2外国語でフランス語の勉強をして英語を客観的にみることができるようになりました。

他の人にとってはどうでもいいことに、私は感動をしてしまいます。また、勉強は好きでやっているのだから仕事を優先しよう決めました。試験の日すれすれになって、仕事の都合で休めず試験を受けられなかったり、家に人が来て面接授業に行くことができなかつたり、今思うと色々な事がありました。また、卒論の一泊セミナーに参加して保育時間の延長をお願いに行った福祉事務所の人に偶然に会ったり、そこで10年の間に保育園は延長が認められるようになったとお聞きし、よかったなあと思いました。私の時代には間に合わず私は東京へ引越をしました。

私は家の都合や仕事の都合で文京学習センターで1回足立学習センターで2回、この埼玉学習センターで3回卒業しました。放送大学の20年間は、とても模範生とはいえない私ですが、目標があって毎日が充実していてとても楽しい学生時代でした。知れば知るほど知らないことがまた出てきます。学習に終わりはありません。放送大学のますますの発展をお祈りいたします。

生涯学習奨励賞（金賞）受賞の喜びに寄せて

古屋 秋雄



このたびは、貴（埼玉）学習センターから、生涯学習奨励賞（金賞）を賜り、心から感謝しています。この賞をいただき、すでに5専攻が卒業できたと改めて実感が湧いてきました。最後の1つの専攻の「心理と教育（旧・発達と教育）」も卒業できるよう今年度も編入学したところです。最後の卒業に向けてがんばって卒業しようと学習に臨んでいきます。

ところが、私もこの道のり（5専攻の卒業）は決して楽なものではなく、険しい道のりが数多くありました。時には途中でやめてしまおうと挫折しそうになったことが何回もありました。しかし、その時は「なにがなんでも卒業するのだ！」という強い気持ちと目標を持って、卒業することができました。

最初の卒業は、人間の探求ですが、卒業を目指すと同時に学芸員の受験資格を取得するため必要な科目を履修するという目標がありました。その目標に向かって、無事に卒業することができました。その後は好きな科目を履修しているうちに、2つ卒業でき、3つ卒業でき、4つ卒業できるようになりました。そのうち、大学院が設置されたので、設置後2年経ってから受験して合格することができ、2年間で環境システム科学群を修了しました。大学院終了後は、さすがに大学院を続けて受験して合格することは厳しいので、再び学部入学することにしました。その時は、全専攻制覇とは全く考えてもいませんでした。しかし、放送大学の卒業式でグランドスラム表彰（全専攻制覇表彰）があることを知り、それなら、全専攻制覇だと目標を立てました。但し、この表彰が、貴（埼玉）学習センターの生涯学習奨励賞が基になっていることを後で知り、たいへん驚きました。私は今回、貴（埼玉）学習センターの生涯学習奨励賞を受賞するまで、このような賞があることも全く知りませんでした。また、まだ（1つ専攻が足りないため）グランドスラム（全専攻制覇）を達していない私が表彰していただいたのも貴（埼玉）学習センターのおかげだと存じてたいへん感謝しています。これからも放送大学において、勉強に励んでいきたいと思えます。

さて、学習方法については人それぞれとやり方があると存じますが、ここでは、私なりに学習方法について、簡単にお伝えします。

卒業（履修）に向けての一番の難関は、単位認定試験です。単位認定試験には、記述式と択一式があります。択一式のほうがマークシートなので容易に見えますが、正解・不正解がはっきりしていて、一般に設問が10問の場合、6問以上正解にならないと合格できません。逆に記述式のほうは、解答を書くのがたいへんでも、正解・不正解の領域がフuzzy（曖昧）なため、思ったより点が取りやすく、択一式と比較して単位を取得しやすい多い場合があります。現実と同様なことを言う在学生が少なくありません。

また、「通信指導（レポート）の問題」と「単位認定試験の過去問題」は、試験対策として有効です。「単位認定試験の過去問題」は、今後、各学習センターでも期限を定めて閲覧できるようになったみたいですから、参考にしてみてください。また、履修科目案内に記載されている過去試験の平均点も履修科目を選定するうえで参考になります。活用してみてください。

なお、近年、採点の都合と思われるが、択一式のほうが増えています。しかも履修科目によっては、設問が10問以上のものもあります。択一式の場合、「正しいもの」を一つ選んでマークしたり、「誤っているもの」を一つ選んでマークしたりするのが基本ですが、「正しいもの」または「誤っているもの」の個数を選んでマークせよとか、「正しいもの」または「誤っているもの」が全く無い場合は、指定する番号をマークせよ」とかいう設問が目立つようになりました。これも要注意です。単位認定試験前の通信指導（レポート）の提出もたいへん苦勞します。提出期限に間に合うように学習計画（スケジュール）を立てて対応する必要があります。

また、学習目標は大事です。その点、エキスパート（科目群履修認証制度）は学習の目標設定にたいへん役立ちます。私もこのエキスパートを目標に学習に励んでいます。ただし、このエキスパートには、履修科目の開講年度から原則8年という設定期限があるので、注意しなければなりません。

学習していて嫌になったら無理をしないことです。一時中断して、またやり直すことも必要です。それができるのが、放送大学の特色です。また、放送大学には面接授業があり、いろいろの方々と接することができ、大きな経験をすることができます。そして、何と言っても興味を持つことです。これが学習遂行のうえでたいへん有意義なものになります。学習は人それぞれ異なるので、いろいろなことを経験して積み重ねて学習に励んでいきましょう。

最後に皆さんの学習方法の糧になれば幸いです。

学生の皆さんへの提案—退任挨拶に代えて

吉森 賢



教員の退任挨拶は多くの場合型にはまった感謝の言葉や教員の思い出等に終始しあまり面白くない。私も義務としてこれまで横浜国立大学と昨年3月放送大学を定年退任する際書いたことがある。しかし他の教員の退任挨拶はほとんど読んだことはない。今回は1年という短い在籍期間でもあり、そもそもこのような者に退任の挨拶など資格がないと考える。しかしこんなことで角を立てれば大人気ないので、私の専任教員5年、客員教員10年の放送大学での経験から学生諸君に以下を提案したい。

1. 専攻仲間を形成する一かに孤立を防止するか

放送大学の最大の利点を自宅における履修だとすれば、その最大の課題はいかに学生個人の孤立を防ぐかである。これは特に大学院生にあてはまるが、学部学生も同様である。院生は私の場合は毎月のゼミで集合するのがお互いに顔を合わせる唯一の機会である。そこで院生の落伍とゼミの出席率には強い相関関係があることを確認した。

学部学生にはこのように会合する機会は趣味の活動ぐらいであろう。しかし趣味と勉強とは別である。やはり専攻の学生同士が集まり、教員の悪口や試験問題の予測などのみならず、個人的悩みや問題について話し合い、励ましあい、刺激し合い、相談し合い、助けあう友人集団を得る機会が必要である。

理想的な場合そのような人間関係は一生続くかも知れない。

大学はこの点で特に対策を立案、実施してこなかったが、教員としてできることがある。それは面接授業である。私は今年度前期「欧米大企業の盛衰」、後期「経営戦略」の面接授業を担当するが、次を実施してこの問題の解決の一助にしたい。

すなわち第一限の授業時に受講生全員に専攻別に互いに隣接した机に座ってもらう。その後各人に20秒以内で自己紹介をしてもらう。つまり物理的に同じ場所に専攻の同窓生を集め、顔を覚えてもらうことが第一歩である。

次に授業中に私が2～3回問題を提示し、専攻集団別に検討してもらい、代表者あるいは全員に回答を発表してもらう。この共同作業が仲間意識形成には必須である。

私にとっては初めての試みだが、上記面接授業に参加される受講生は今から20秒で皆の脳裏に刻まれるような自己紹介をいかにするかを真剣に考えておいてもらいたい。それは友人を獲得する最初の手段である。

2. 放送教材を馬鹿にしない一単位試験の合格点をいかに確保するか

私は「企業統治と企業倫理」と「企業戦略と企業文化」2科目のテレビ科目を単独で担当している。初めての試みとして前年度後期の単位試験に放送授業を見ていなければ解答できない問題を10問中3題提出した。ところがそれまでの70～80点台の平均点数がいきなり50点台の後半にまで低下した。もちろん単位取得できない受講生も記録的多数発生した。学生は印刷教材中心に勉強し、放送教材は等閑にする傾向がある。これに関する統計は図書室に常備してある「学生による授業評価」を見れば明白である。この状況は私を含めた教員にも責任がある。通信指導、単位認定試験のいずれも印刷教材を中心にして設問されているから、あるいはいたからである。

しかしこの状況は今後変わるであろう。その理由は第一に受講生が印刷教材と同様に放送教材を勉強しなければ、教員に対する学生による授業評価が低下するからである。第二に科目によってはテレビ放送授業が単なる印刷教材の解説にとどまらず、それをさらに発展させた問題、事実、解決法などをも取り上げるからである（私の上記の科目はこれに該当する）。またテレビ授業でなければ不可能な視覚的、直感的に理解しやすい形での教材、映像資料により授業がなされるからである。第三にテレビ授業の政策には巨額の費用がかかっているからである。これを利用しないことは授業料と税金の無駄となる。

私の対策としては上記2科目に関しては今年度第2学期から自習型問題を20題に増やし、その中に放送授業の問題を数題出したのでこれらを試験前に対応できるものとする。

以上とりあえず二つの急を要する問題とその対策を提示した。

ご成功を祈る。

21年度公開講演会実施概要

「渋沢栄一思想と行動」—今なぜ渋沢栄一が注目されるのか

木村 昌人（渋沢栄一記念財団研究部長）

平成22年1月17日(日) 参加者 50名

共催：放送大学埼玉同窓会

はじめに：オバマと渋沢栄一：21世紀グローバル社会と日本に必要なリーダー

*近代日本をどのような国にするのか— 渋沢栄一【1840-1931】のライフワーク

第1期：生い立ちから明治政府に仕官するまで【1840<天保11>- 1869<明治2>】

*不本意と決断：なぜ渋沢は幕末維新の激動を生き残れたのか？ また激動の時代から何を学んだのか？

第2期：「湯島・兜町・深川時代」【1869<明治2>- 1901<明治34>】

*競争と共生：渋沢の考えていた資本主義とは・モラルある資本主義

*実業：合本主義〔株式会社組織〕の導入、第一国立銀行頭取として数百の会社設立

*フィランソロピー：東京府養育院、東京商業学校（現一橋大学）・東京女学館岩崎弥太郎との「向島会谈」—国家・社会・経営哲学の相違

第3期：「飛鳥山時代」【1901<明治34>- 1931<昭和6>】

*企業家精神：グローバル社会形成のための企業家の果たす役割とはなにか？

結びに変えて：戦後日本の生きざまを賢く伝え、グローバル社会に知的貢献を！

「言い訳と自己正当化の心理学」

森 津太子（放送大学准教授）

平成22年2月7日(日) 参加者 72名

共催：放送大学埼玉同窓会

“言い訳”や“自己正当化”というと、他者に対して行うものと思われがちですが、私たちは自分自身に対しても、日々たくさんの言い訳や自己正当化をしています。また、言い訳や自己正当化は悪いものとはばかり思われがちですが、私たちの心の安定のために有用な働きもしています。言い訳や自己正当化は、言ってみれば人間の心を映す鏡のようなものです。今回の講演では、言い訳と自己正当化にまつわる日常的な実例を挙げながら、人間の心の働きの不思議に迫っていきたいと思います。

同窓会20周年講演会

「ホームでの生活から」

長谷川 和子（放送大学卒業生）
平成22年3月6日(土) 参加者 100名

共催：放送大学埼玉学習センター

あなたは年老いた時、どこで暮らしますか？ 「もちろんズーっと自宅で暮らしたい」と思う人が大半ではないでしょうか。高齢化社会となり、核家族の形態の中、「終の住処」を求めざるを得ない場合も出てくるでしょう。老人ホーム勤務22年。多くの方々と接してきた体験を通して、「人間とは・・・家族のあり方とは・・・」等を一緒に考えるひとときにしたいものと思っています。

「生涯学習社会と放送大学生の未来への挑戦」
20年放送大学にかかわって

黒澤 英典（武蔵大学名誉教授）
平成22年3月6日(土) 参加者 100名

共催：放送大学埼玉学習センター

21世紀初頭のいま、積極的な未来への展望の欠如等々、わたくしたちが当面する課題が数多く存在しています。このような状況の中で、「学ぶこと」によって、正確な情報（知識）を取得し、明確な主張を端的に表現し解決のための見通しを、わたくしたちが能力で生涯にわたって求めていかなければなりません。《いつでも、どこでも、だれでも》学ぶことのできる生涯学習社会の到来は、人類の新たな《生きる力》を与えてくれます。無限の挑戦であり、希望でもありません。地球社会の今日的課題を担って世界各地に創設された無償の放送大学で、未来への挑戦を希望でもありません。向かって自分の無限の可能性を開花させようとする。心からエールを贈りたいと思います。

サークル紹介

パソコンサークルCompass

＜変遷＞ 今から23年前にソフトウェア作成等ができる人たちにより設立されました。その頃既製ソフトウェアはあまり無く、有っても開発用又は機能の劣るものでした。友達も会社の人たちもパソコン、PCって何、ソフトウェア作るって「おたく」と言った具合でした。しかし、このような言葉にもめげず活動を続けられたのは何故でしょうか。パソコンの持つパーソナル化、小型化、電子媒体による共有化、ネットワークによる伝送、無線、映像、音声・音楽、パソコンで出来るであろう可能性に未来を感じていたからです。＜活動内容について＞ Word、Excel、Power Pointなどの操作方法をはじめ、Internet講座では、顔文字の作成他、IMEツールバーの色々な機能。ムービーメーカーでは、写真、タイトル・音楽の操作方法、CD作成。クリスマスカード、年賀状、グリーティングカード作り方。作成カード・CD等による発表会、およびパソコン検定試験3級勉強。他、レベルの高い人たちによる情報交換等

＜活動場所、日時について＞ 9階の実習室で、主に第2、第4日曜日の2時30分より5時迄です。掲示板、ポスター等での確認をするか、メールでお問い合わせください。

＜親睦会等について＞ 不定期に飲みケーションを行っています、また若いメンバーを中心に旅行に行ったりして楽しんでいます。

＜構成員およびインストラクター役について＞ 男女半々、20代から60代のメンバーで構成されています。メンバーの中から知識、経験の高い人が中心になり教えています。初心者でも何も心配ありません。

代表者：福島 薫

e-mail

compass.air@gmail.com

アコースティック

「アコースティックとかけて富士山と解く。その心は、忘れた頃に活動する？」

サークル「アコースティック」は平成2年からサークルとして活動しています。

童謡、唱歌、歌謡曲、フォークソング、英語の歌まで、楽譜が読めなくても、音程が外れても、とにかく好きなように歌い、しゃべり、時には勉強をしたりする、自由な集まりです。楽器が弾ける人は隣の教室に迷惑がかからない範囲で楽器を持ち込んで、一緒に演奏することもあります。これまでに持ち込まれた楽器は、琴、大正琴、キーボード、フォークギター、三味線など、キーボードを除いては、電気（アンプ）を使わずに演奏できるものが中心です。

会員は30代から50代（以上）。その日の参加者の歌いたい曲を歌い、レポート提出の時期はレポートを片付けたり、試験科目の情報交換をすることもあります。とにかく「音を楽しむ」というテーマであれば何でもOK。時に難しい「楽典」を論じ合ったり、何故か突然パソコン教室になったりしながら「音楽を通じて親睦と学習意欲の向上を図って」いる（かもしれない）サークルです。

そんなサークルですが、一昨年度辺りから仕事の都合や、育児、介護などで参加出来ない会員が増え、定期的に活動できない状態が続いています。



いっその事、サークルを解散してはどうかという意見も出されました。

その反面、1年に2、3回でも集まって活動できるのなら続けても良いのではという意見もあります。結局、結論がでないまま平成22年度も継続届けを提出しました。嬉しいことに、昨年よりも休みが取りやすくなったという会員もあり、今年度はもう少し活動できるのではないかと期待をしています。

富士山に突然活動を再開されては困りますが、アコースティックは忘れた頃でも構わないから活動しようと只今準備中です。

活動日時や場所はメールでお知らせします。見学大歓迎です。

休火山のようなサークルですが、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

act.hoso851@gmail.com

アコースティック 丸山まで

◇◇教務からのお知らせ◇◇

平成22年度第1学期単位認定試験について

○大学院の試験

平成22年7月23日(金)・24日(土)

○学部の試験

平成22年7月25日(日)～8月1日(日)

〔7月26日(月)及び7月30日(金)を除く〕

本部から直接送付される受験票で、科目・日時・試験室等を確認し、同封の「単位認定試験受験に際しての注意事項」をよく読んでから受験してください。

なお、平成21年度第2学期に登録した科目と再試験科目が同一試験日・時限となる場合は、いずれか1科目を選択して受験することとなりますので、ご注意ください。

平成22年度第2学期の科目登録について

平成22年度第2学期の科目登録は

①システムWAKABAでWeb登録の場合

平成22年8月5日(木)～9月3日(金)

18:00まで

メリットその1:登録期間内は自由に科目の追加・取り消しができます。

メリットその2:科目コードの記入間違いがなくなり、確実に登録できます。

メリットその3:記入の手間が省け、郵送料がかかりません。

② 郵送の場合

平成22年8月5日(木)～9月1日(水)

大学本部必着です。

郵送提出後は、変更は一切できませんので、ご注意ください。

教員免許更新講習

平成21年4月より教員免許更新制が実施され、教員免許の更新が必要になります。放送大学では年2回(夏期、冬期)の講習を実施します。(放送大学の講習のみで修了できます)受講出願はインターネット出願のみです。詳細は下記までお問合せ下さい

■放送大学教務部連携教育課
TEL: 043-298-4257
放送大学ホームページ
<http://www.ouj.ac.jp>

◆◆図書室・視聴学習室 からのお知らせ◆◆

○図書室・視聴学習室ご利用の際には、必ず学生証の提示をお願いいたします。

○入室の際、学習に必要なもの以外は持ち込まないでください。鞆や飲食物の持ち込みは禁止です。どうしても必要な場合には、カウンターでビニールの手提げ袋を貸出しています。係員に声をかけて下さい。

○貸出図書の返却期限を必ず守って下さい。更新を希望される場合、やむをえず返却日に間に合わない場合などは、早めにご連絡をお願いいたします。手続がない場合、次回の貸出しが一定期間出来なくなることもありますので、ご注意ください。

○今年度より、放送教材・図書資料等の時間外返却用に、10F東側出入口にブックポストを設置していますのでご利用ください。利用時間は、学習センターの終了時間から翌日開室時間までの間です。(なお、放送教材返却の際は必ず「学習センター利用の手引き」を添付してください)

◎7月23日(金)から単位認定試験が始まります。下記の期間は貸出停止期間となりますのでご注意ください。

★7月9日(金)～8月1日(日)まで(図書資料)

★7月16日(金)～8月1日(日)まで(放送教材)

◎単位認定試験期間中は室内の利用時間、視聴学習室利用の方法が変更となりますので、必ず掲示物を確認して下さい。

ご協力をお願いいたします。

職員紹介

埼玉学習センター

所長 毛利 信男

事務長 高松 義人

白井 千貴

村上 聖果

目黒 恵美

大森 浩美

菊地 秋良

宮崎美紀江

齋藤 裕恵

河村 恵子

川野美代子

飯嶋 淳子

濱田 一美

桐原 昌秀

学生の皆さんが
快適に学んでいただけます
様に、職員一同頑張ります。
よろしくお祈りいたします。

●平成22年度第2学期放送大学学生募集

学生募集

平成22年度第2学期教養学部「全科履修生」「選科履修生」「科目履修生」及び大学院文化科学研究科「修士選科生」「修士科目生」の学生募集を下記の日程で行います。皆さんの友人・知人にも放送大学の素晴らしさ、学ぶことの楽しさを伝え、一緒に学友になりませんか！

教養学部

- 全科履修生
- 選科履修生
- 科目履修生

大学院

- 修士選科生
- 修士科目生
- 修士全科生

出願方法は、①インターネット出願、または②郵送出願(本部)のいずれか一つの方法でお願いします。従来行っていた、学習センターへの郵送・持参による出願は廃止となりましたのでご注意ください。

出願期間

平成22年6月1日(火)～平成22年8月31日(火) 必着

※インターネット出願は平成22年8月31日(火)24時で受付終了となりますのでご注意ください。また、全科履修生の証明書類等は8月31日必着です。詳細は埼玉学習センターにお問い合わせください。

●平成23年度修士全科生募集

平成23年度「修士全科生」の学生募集も開始されます。

出願期間 平成22年8月20日(金)～平成22年9月10日(金)

募集要項の配布は6月15日からです。

配布については埼玉学習センターまでお問い合わせください。

～知人・友人等をご紹介ください～

知人・友人等と一緒に埼玉学習センターで学びませんか？知人・友人等の入学者の紹介を募集しています。紹介された方が埼玉学習センター所属で入学された場合には、薄謝進呈いたします。詳しくは10階窓口まで。

大学説明会

埼玉学習センターでは、下記の日程にて大学説明会を開催いたします。知人・友人の方等周りに放送大学に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ご案内をお願いいたします。申込はセンターに電話でお申し込み願います。(048-650-2611)なお、当日直接のお越しの方も歓迎いたします。

第1回	平成22年	6月27日(日)	} いずれも 14:00～16:00
第2回		7月10日(土)	
第3回		8月14日(土)	
第4回		8月22日(日)	

内容◆放送大学概要説明◆卒業生体験談◆センター見学◆面接授業見学◆個別相談

公開講演会

埼玉学習センターでは、今年度開講25周年記念として、下記日程で公開講演会を予定しています。本学学生、同窓生はもちろんのこと、一般の方も参加できますので、ご家族やお知り合いの方もお誘いください。

第1回「宗教と資本主義 ヨーロッパとアメリカ」吉森 賢(放送大学客員教授)

日程：平成22年7月10日(土)13:30～15:00

場所：埼玉学習センター 8階講堂

定員：先着100名(参加無料) 共催：放送大学埼玉同窓会

第2回「題目未定」堀 新(共立女子大学教授)

日程：平成22年8月21日(土)13:30～15:00

場所：埼玉学習センター 8階講堂

定員：先着100名(参加無料) 共催：放送大学埼玉同窓会

第3回「題目未定」宮田 修(元NHKアナウンサー)

日程：平成22年9月11日(土)13:30～15:00

場所：埼玉学習センター 8階講堂

定員：先着100名(参加無料) 共催：放送大学埼玉同窓会

講演会に参加希望の方は、埼玉学習センターへ電話でお申し込みください。